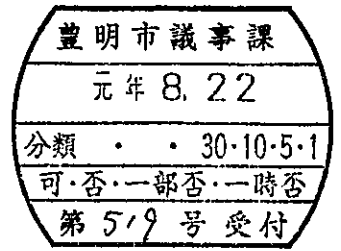


<参考>様式第2号

元年 8月22日

豊明市議会議長 殿



行政等視察報告書

議員名 堀内 ちほ

令和元年度豊明市議会政務活動費にて下記のとおり行政等を視察しましたので報告します。

| 年 月 日 | 視察先 | 視察項目及び成果等 |
|-------------|--------|-----------|
| 令和元年 7月 30日 | 岡山県高梁市 | 別添のとおり |
| 令和元年 7月 31日 | 広島県呉市 | 別添のとおり |

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。

令和元年度

清和・清風・公明党市議団 行政視察報告書

令和元年7月30日（火）～7月31日（水）

豊明市議会議員 堀内 ちほ

視察先 岡山県高梁市 7月30日（火）

○豪雨復興計画について

視察先 広島県呉市 7月31日（水）

○国民健康保険事業の医療費適正化について

提出日 令和元年8月22日（木）

令和元年 7 月 30 日（火）岡山県高梁市

豪雨復興計画について

J R 備中高梁駅に降り立ち、駅に隣接する新しそうな建物が目につきました。書店内にスターバックスがある事に驚きましたが、実はこの建物は、2017 年に作られた高梁市図書館でした。

2 階にスターバックス・蔦谷書店・観光案内所があり、
3 階、4 階が高梁市図書館となっていました。

2 階には、高梁市、岡山県の物産、きび団子にお酒などと、お土産になる品が置かれ、種類も多く充実していました。

駅にほど近い場所でお土産や、本が買えるのは実に有難いと思いました。

高梁市観光案内所は午後 5 時までの営業時間ですが、スターバックスと蔦谷書店と図書館は、年中無休の午前 9 時～午後 9 時営業。

私が見学していたわずかな時間も、ベビーカーに赤ちゃんを乗せた若いママを何人か見掛け、スターバックスでも子供連れのママさん集団が楽しそうにおしゃべりをされていました。

この図書館は、まちの活性にも一役かっているスポットだと思いました。

高梁市は、平成 30 年 7 月の豪雨（西日本豪雨）で河川の氾濫などによる浸水被害、市内各所での山腹崩壊、土石流による土砂災害など甚大な被害を受けた市です。

今回の視察の目的は、大災害からの早い復興について。

市の職員の方からスライドを使ってわかりやすく説明を受けました。

災害からの計画期間は 10 年間（2018 年度～2027 年度）

①復旧期（2018 年度～2020 年度）3 年間

生活や産業の再開に不可欠な住宅、生活基盤、インフラ等の復旧に加え、再生・発展に向けた準備を進める期間。

②復興期（2021年度～2024年度）4年間

復旧期と連動し、復旧期に取り組んだ残りの復旧を進めるとともに、被災前の活力を回復し、地域の価値を高める期間。

③発展期（2025年度～2027年度）3年間

被災地が新たな魅力と活力ある地域として生まれ変わり、発展していく期間。

この基本方針と基本計画を踏まえ、発展の礎づくりを目指されています。

中でも地域防災力の向上として、地域防災計画の見直し、防災組織の育成、強化と連携、ハザードマップの見直し、避難場所等の検討及び災害時における情報伝達手段の確保、防災意識の維持・向上に取り組まれているとの事でした。

復興4プロジェクト

1. 市民生活の再建

・安心して暮らせる住環境の整備

①生活基盤の復旧・整備

②住まいの再建支援

③安全な地域の再生方策や周辺地域の居住場所の在り方の検討

④暮らしに関する総合的な支援

2. 災害に強い安全・安心なまちづくりの推進

・防災・減災のための基盤整備

①二次災害防止策

②河川、道路などの復旧

③砂防、地山、ため池等の安全策

④既存施設の安全性の検証

地域防災の向上

①地域防災計画の見直し

②防災組織の育成、強化と連携

③各種ハザードマップ等の見直し

④避難所等の検討及び災害時における情報伝達手段の確保

⑤防災意識の維持、向上



3. 産業・経済の再生

・産業基盤の早期復旧

- ①農地・農業用施設等の復旧
- ②事業経営再開支援

・産業、経済の振興

- ①農業振興
- ②林業振興
- ③観光振興
- ④経済の活性化
- ⑤経済基盤の強化



高梁市役所

4. 復旧・復興に向けた財政運営

- ①事業推進のための財政運営

国・県の災害復旧等にかかる各種補助金等の有効活用

- ②財源の確保に向けた取り組み

経常経費の削減及び行財政改革の推進による財源の確保

- ・ 昨年の豪雨災害で避難所には 2500 名の方が避難された。
（早い段階で避難勧告を出されていた）
- ・ 飲料水は備蓄していたが不足事態となった。
高齢者に 1 日 3 食の防災食を提供していたが、食事が辛いとの事で、炊き出しをしていたが、保健所から衛生面を理由にストップされた。
- ・ 自主防災組織の育成・強化と連携及び消防団員の確保に力を入れるも、消防団員が、かなり高齢になっている。
- ・ 色々な所から集まった支援物資がうまく配給できず、支援物資の保管場所に困った。

等々の問題点があったとのこと。

いつか豊明市でも起こりうる、災害に強いまちづくりを意識しなければいけないと、改めて思いました。

令和元年7月31日（水）広島県呉市

国民健康保険事業の医療費適正化について

広島県呉市と聞いて思い浮かぶのは、巨大戦艦「大和」ではないでしょうか。
呉市は造船・製鋼を始めとした各種の技術を今に伝えているまちです。

今回の視察では、呉市の国民健康保険事業の取り組みの中で特に、糖尿病性腎症等重症化予防事業について学ばせて頂きました。

人口 223,685 人（R1年度当初）
うち、国保加入者 42,842 人
（人口の約 19%）

高齢化率 34.8%

高齢者人口 77,922 人

（後期高齢医療被保険者数 42,467 人

呉市国保加入者の高齢化率 57.0%

<参考>平成 29 年度 呉市 56.6%

（広島県 47.2% 全国 38.6% 平成 28 年度）

介護認定率（平成 30 年 9 月末）呉市 17.6%

（広島県 19.3% 全国 18.3%）



呉市議会議事堂

医療の状況

大規模病院の存在 400 床以上の病院が 3 機関

1 人当たりの医療費（平成 29 年度）45 万 9 千円

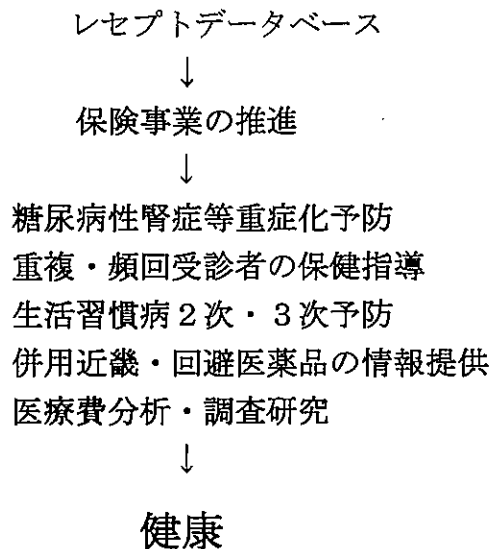
呉市の計画・目標（健康長寿の延伸）

健康長寿の延伸と国民健康保険の健全運営



生活習慣病予防を柱とした保険事業の推進

・健康管理増進システム



・呉市における医療費適正化に向けての取り組み

- ①レセプト点検の充実・効率化
- ②レセプト情報の活用による医療費等の分析
- ③ジェネリック医薬品の使用促進通知
 - ・生活習慣病で長期にわたって服用しなければならない医薬品等について切り替え可能なジェネリック医薬品の情報を被保険者に提供

【期待される効果】

 - ・保険事業の実施の財源確保
 - ・医療費の適正化→保険料率の引き上げの抑制
- ④訪問指導・重症化予防など各種保険事業
 - ・医療費の伸びが大きく、医療費が高額な疾病への対策

※糖尿病性腎症が重症化し、人工透析に移行すると、1人当たりの年平均医療費は約400万円→糖尿病の危険因子や腎機能障害が進行している人を早期に把握し、生活習慣病の危険因子の重複や疾病の重症化を予防することが必要。

- ・糖尿病性腎症等重症化予防プログラム
- ・専門的な訓練を受けた看護師による個別支援
- ・期間は6ヶ月
(面接指導3回・電話指導9回)
- ・食事の実践方法を学ぶ「腎臓にやさしい料理教室」を開催
- ・プログラム終了後も6ヶ月ごとにフォローアップ
- ・終了後も情報提供、研修を実施

総合的な健康づくり施策として、呉市は、保険・医療・介護等で分野ごとに展開している事業の課題を整理し、総合的な健康づくり政策を推進するための部署を新設。

市民が住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには全世代を通じた「健康づくり」の取り組みが重要とされ、呉市では様々な事業展開がされていました。健康長寿日本一を目指す豊明市にもぜひ、取り入れてほしい事業と思いました。